

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所きらら館はるやま			
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～	令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～	令和7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体験活動の充実	・公共施設での過ごし方を学ぶため、公園や地域の図書館に行ったり、スーパーなどでの買い物活動を行ったりしている。 ・年長児は公共交通機関を使用しての外出活動も行っている。	・引き続き、社会体験活動として、公共施設や公共交通機関を利用する機会を設ける。 ・収穫体験として、サツマイモや、子どもたちと相談し他の野菜も育てる機会を設ける。また、収穫後のクッキング活動や、法人イベントでの出店なども行っていく。
2	子どもたち一人ひとりに合った支援の提供	・年齢ごとではなく、子どもたちの段階に合わせたグループ編成を行っている。 ・小集団での活動に加え、個別療育の時間を設けている。	・季節の行事等、活動内容によっては、全グループ合同など、少し人数の多い環境で過ごす時間も設けていく。
3	ファミリーサロンの実施	・親子で一緒に活動を行ったり、子どもたちの活動の様子を見ていただく機会として、ファミリーサロンを開催した。	・保護者向けに希望する活動内容のアンケートを実施し、ニーズに合わせた活動を取り入れていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や連携	・地域に向けて発信する機会が少ない。 ・コロナ禍により交流を控えていたが、5月に引き下がった後、再度交流の場を設けるなど、体制の整備が不十分であった。	・法人のイベント時に、地域の方にもお越しいただけるよう発信していく。 ・児童館を利用したり、法人内の保育園と一緒に活動を行ったりする機会を設ける。
2	保育園や幼稚園に送迎を行っているお子様の保護者の方と直接会って話をする機会が少ない。	・連絡アプリにて毎日の活動の様子をお伝えしているが、一方的な発信になっており、家庭からの情報を聞き取る機会が少なくなっている。	・半年に1回の面談だけでなく、ファミリーサロンや療育参観等を開催することで、直接会ってお話する機会を増やしていく。 ・療育参観を実施し、いつでも参観可能であることを保護者の方に発信する。療育参観週間以外にも気軽ににお越しいただけるような雰囲気作りを行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所きら館はるやま

公表日 令和 7年 2月 28日

利用児童数 20名

回収数 19名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	0	・広いスペースで運動できるので良いと思う。	・子どもたちが過ごしやすい環境構成への配慮を行っていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0		・契約時や保護者会等を通して、職員数についての情報を分かりやすく伝えていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	0	0		・絵カード等の視覚支援を取り入れたり、空間を区切ったりし、行動のしやすさや分かりやすさにつながるよう配慮を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0		・清潔な空間で安心して過ごすことができるよう、引き続き配慮を行っていく。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0	・特性に沿って支援を受けることができ成長をすごく感じている。 ・職員の方々がいろいろ研修されているのか、特性を理解した対応をされていると思う。	・引き続き、保護者からのアセスメントや日々のこどもの様子から、分析を行い、個々の特性を理解したうえで、支援を行っていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	1		・支援プログラムに合わせた支援を行っていく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		・アセスメントや面談を通して、ニーズや課題を聞き取り、分析を行い、放課後等デイサービス計画の作成を行っている。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0	・定期的な面談で支援内容の報告があり、その都度意見や思いを伝えることができそれを反映しているプランだと思う。	・引き続き、児童発達支援ガイドラインに沿って、個々の発達に応じた支援内容を設定していく。 ・ガイドラインに沿った内容になっていることを丁寧に説明、確認を行っていく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		・支援計画に沿った支援となっているか、その都度職員間で確認、見直しを行いながら、丁寧な支援を行っていく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	0	0	・運動遊びや頭脳トレーニング、言葉表現など様々なプログラムが入っており、良いと思う。	・子どもが楽しみながら活動に参加し、様々な経験をすることができるよう、子どもの現状や課題に沿った活動の設定を行っていく。
保護者への説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	1	3		・交流の機会は少ないため、行事への参加等を通して、交流の機会を増やしていく。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1	0	0		・丁寧な説明を心掛けていく。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1	0	0		・丁寧な説明を心掛けていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	0	0	0		・現状や保護者のニーズに合わせ、外部講師を招く等して、講習会を実施し、特性の理解やかかわり方の学びにつながるようにしていく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0	・面談で分かりやすく伝えて下さるおかげで親としても、日頃の接し方のヒントをもらっている。 ・子どもの可能性を信じて一つ一つ丁寧に諦めずに言葉掛けや支援をしてくださり、共通理解できている。	・帳面や保護者用アプリに、子どもの様子や課題について伝え合い、共通理解の基、支援を行うことができるようにしていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0		・面談時や日々のやりとりを通して、必要な情報を伝えるとともに、育児に対する助言を行っていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1	0	0	・職員の方が子どもの成長につながる支援を意識している姿が日々見られるので、ありがたいです。	・子どもの気持ちに共感し、安心して過ごすことができるようかかわっていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	4	1	1	・ファミリーサロンなど、子どもと楽しく触れ合う機会はとても良い。きょうだいの交流もあれば参加したいと思う。 ・きょうだいとの交流はまだない。	・保護者同士の連携の場を設けることはできなかった。今後は、茶話会などの機会を作り、交流の機会を設けていく。 ・きょうだい同士の交流の機会については検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	0		・相談や申し入れがあった際は、職員間で話し合い、対応を行っている。引き続き、迅速、丁寧な対応を心掛けていく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0		・帳面や送迎時に、子どもの様子を伝え、情報伝達を行っている。直接お会いすることができない保護者の方には、必要に応じて電話等で情報伝達を行っている。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	1	・多忙にもかかわらず、コドモンでの連絡があり、子どもの状況がリアルタイムで分かるのでありがたいです。	・ブログについては、各グループ月2回更新を行っていく。また、インスタグラム等のSNSも活用し、活動の様子の発信を行っていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	0	0		・持ち物や書類等の入れ間違いのないよう、二重で確認を行い、個人情報の取扱いに十分に配慮を行っていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	2		・契約時の説明を行っていく。マニュアルを閲覧できるように声掛けを行っていく。 ・場面を想定した訓練の回数を増やしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	1		・地震や火災を想定した訓練を実施している、訓練時の様子について、ブログ等のSNSで発信をしたり、様子の伝達を行ったりしていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	2		・安全計画について、契約時の説明や、計画を閲覧できるように声掛けを行っていく。 ・安全に過ごすことができるよう体制や環境を整えていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	2		・事故等が発生したときには、速やかな連絡や状況説明を行っている。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	・きらら館での活動の内容を嬉しそうに話したり、先生に言われた言葉でやる気が出たりしており、楽しく利用している様子が見られ安心している。いろいろな子どもたちがいる中で個別に支援してくれる職員の方々には感謝している。	・子どもが安心して過ごすことができるよう、気持ちに寄り添った声掛けや支援を行っていく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	0		・引き続き、子どもの充実感や達成感、満足感につながるよう支援内容を考慮したり、環境づくりを行ったりしていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0	・支援には大変満足しているが、配布すべき資料などの遅れが多いと思う。説明なく配布されるものがあると不信に思う。	・書類等、早めの作成に努めていく。丁寧な説明を心掛けていく。 ・引き続き、子どもたちが様々な経験を通して学び、成長につながるよう支援を心掛けていく。 ・子どもの成長や課題について丁寧に伝え、共通理解を図りながら、家庭と連携した支援を行っていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所きらら館はるやま			公表日		令和 7年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用人数や活動内容、子どもの様子に応じて、適切かつ十分なスペースを確保し、支援を行っている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・適切である。 ・活動内容や子どもの様子に応じて、配置する人数を調整している。 ・少人数の環境で、より個別にかかわることができるように取り組んでいる。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・見通しを持つことができるよう、活動内容、持ち物の場所等をイラストや絵カード、文字で掲示している。訓練室内には最低限の視覚情報を掲示しておき、必要に応じて個々の状況に合った視覚支援を行うこともある。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・訓練室使用前、使用後に清掃を行い、清潔な環境づくりを行っている。 ・子どもたちが活動に興味を持てるような空間づくりや、注意散漫とならないよう必要な物品のみ出すよう工夫している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・子どもの状況や様子に応じて、個別で活動する時間や、職員と話をする時間、クールダウンを行うことができるような部屋や場所を設けている。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・ケース検討会議等を通し、子どもの支援に関する目標や課題を挙げ、振り返りや見直しを行っている。 ・ミーティングを通して業務に関する課題を挙げ、改善策を講じている。 ・職員個人の目標設定を行い、定期的に振り返り、見直し、目標の再設定を行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け事業所評価を実施し、意見を基に改善に取り組んでいる。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会議やミーティング、ケース検討会議で、職員の気付きや意見を伝える機会を設け、業務改善につなげている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者評価による外部評価は行っていない。今後検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に事業所内研修（支援内容や事業計画を踏まえた内容）を実施したり、法人内研修の参加、外部講師を招いた研修を実施し、職員の資質向上に努めている。 ・非常勤職員参加の事業所内研修の機会を増やし、支援内容の共通理解につなげている。	・受講した内容を、支援に活かすことができるよう取り組んでいく必要がある。		
適切な支援の場	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・適切に作成、公表を行っている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントを実施し、子どもの様子や保護者のニーズを分析した上で、児童発達支援計画の作成を行っている。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・担当職員から様子を聞き取ったり、支援者会議の中で現場職員の意見を取り入れたりしながら、こどもの最善の利益を考慮して、計画を検討している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・児童発達支援計画を掲示し、全職員が計画を意識しながら支援を行うことができるよう取り組んでいる。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・標準化されたアセスメントツールと、インフォーマルなアセスメントを組み合わせ情報収集を行っている。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援ガイドラインから必要な支援項目を選択し、支援内容を設定している。 ・5領域の視点を網羅した支援内容や目標を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・各グループの担当職員が立案を行った後、他職員に伝達、配慮事項等について話し合いを行う時間を設けている。			

提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・各グループの毎月の目標を設定し、子どもたちの現状に応じて活動内容の設定、支援を行っている。 ・各職員が教材等で調べる時間を設けたり、職員会議等で内容の共有をしたりしながら、固定化しないよう工夫している。	・固定化しないよう工夫しているが、今後も現状や課題に応じた活動設定を行っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせた計画となるよう配慮している。 ・活動内容に応じて、個別と集団を判別し、取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝のミーティングで活動内容の周知を行っている。その後、グループ毎に再度配慮事項等の確認、役割分担を行っている。	・日によっては、打ち合わせの実施が難しいこともあるため、毎朝のミーティング後に打ち合わせを行うことを徹底し、支援内容の充実を図る必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・活動終了後、振り返りを行う中で、支援内容の振り返りや気付いた点の共有を行っている。	・振り返りの時間確保が日によってばらつきがあったり、担当職員間ではできているが、全職員への共有ができていなかったりするため、活動毎に確実に行うことができるよう、時間を決めて実施していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の記録を取ることを徹底している。	・記録を見直す機会が少ないため、その都度見直しや振り返りを行いながら、必要に応じて、気付きや改善点についてケース検討会議やミーティングを行っていく必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを実施し、課題を伝え、保護者の意向を取り入れながら、見直しを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・子どもの状況に応じて、児童発達支援管理責任者や当該児童の担当職員を参画させ、事業所での様子について伝達し、情報交換を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて連絡をとり、子どもの現状を伝え、連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて情報交換会を実施したり、活動の様子を見学できる機会を設けたりし、支援内容の共有や相互理解を図っている。	・同法人の保育園とは情報交換を行う機会が多いが、外部の保育園や幼稚園とは情報交換会や施設内見学の機会が少ないため、機会を増やし、より密な連携を図っていく必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学に向け、情報交換会を実施したり、書面で情報共有を行ったりしながら、相互理解の下、入学できるようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		・地域の児童発達支援センターとの連携は不足している。また、スーパーバイズの活用はできていない。積極的に連携を図ったり、スーパーバイズを活用したりしていく必要がある。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・隣接している保育園の園庭で活動する機会を設けているが、交流の機会は少ない。行事への参加等を通して、積極的に交流の場を設けていく必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・保護者用アプリや送迎時に、子どもの様子や課題等について伝え合い、情報共有を図っている。 ・3ヶ月に一回程度、ファミリーサロンを実施し、保護者の方にきらら館での様子を見ていただきながら、話をする機会を設けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・外部講師を招き、保護者に対し、子どもの発達や言葉、運動面についての講習を行い、保護者の学びにつながるよう、家族支援を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時や必要に応じて説明を行っている。引き続き、丁寧な説明を心掛けていく。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・子どもや家族の意向を確認し、計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・丁寧な説明を心掛けている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・少なくとも半年に一回は保護者面談を実施し、助言や支援を行っている。また、定期面談以外にも、保護者の希望や状況に応じて、面談、電話や保護者アプリで対応し、その都度助言や支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会については、3月に実施をしている。	・保護者の交流の機会については、実施ができていない。茶話会や保護者のみの活動等を計画し、保護者同士のかかわりや情報交換をできる場を提供し、機会を増やしていく必要がある。また、きょうだい同士の交流の機会の実施も検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者からの相談や申し入れがあった際には、迅速に、職員間で共有、対応策を講じている。 ・ホームページにて、相談や申し入れ内容を掲載している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・保護者用アプリで、活動予定表や活動の様子写真を掲載し、発信している。	・ブログやInstagramでの発信は不足している。各グループ、2週間に一回は活動の様子発信を行っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の漏洩がないよう、十分に注意している。	・持ち物や書類等の入れ間違いないよう、二重で確認を行っている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・意思疎通や情報伝達のため、絵カードを使用して伝えるなど、配慮しながら支援を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・法人内イベントを開催し、地域住民を招待している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・玄関にマニュアルを掲示している。火災や地震等、場面を想定した訓練を定期的に行っている。	・職員はマニュアルに目を通す機会はあるが、保護者がマニュアルに目を通す機会がないため、保護者会等で、説明や周知を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、定期的に避難などの訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬については、毎日連絡帳にて確認を行っている。予防接種やてんかん発作等の状況についても、その都度確認し、周知している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者へ医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、研修や訓練を実施している。施設点検や散歩コースのチェックを行い、安全な環境で支援を実施することができるよう努めている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画に基づく取り組み内容について、玄関に掲示している。	・安全計画に基づく取り組みについて、玄関に掲示はしているが、保護者が目を通す機会は少ない。保護者会等で、説明や周知を行っている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティング時に周知、改善策について検討を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止や子どもへの声の掛け方、かかわり方についての研修を行い、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束については行っていない。	